

## 2・13院内集会

人見一夫会長あいさつ

政策・制度要求実現2・13院内集会に全国から結集されたみなさんに心より感謝をします。

日本退職者連合は、昨日全国事務局長会議を開催して、政策・制度要求についての各地方退連での取り組みについて中間まとめをしました。その結果600以上に上る各自治体、議員に対する要請の報告があり、政策・制度要求が全国で大きく前進していることが明らかになりました。政策・制度要求の更なる前進に向けて中央、地方での取り組み強化を図っていきます。

さて、今通常国会が開催中です。予算委員会をテレビで見ていると、これで日本は大丈夫なのかという気持ちにさせられます。国民の政治に対する不満や不安が国会審議を通して一向に解決しません。政治への苛立ちを日々感じています。

その大きな原因は安倍首相にあるわけです。全世代型社会保障検討会議が安倍首相の下に設置をされて、昨年12月19日に中間報告が出ました。しかし、将来私たちが安心して暮らせる社会保障制度として提起されているのかと思うと決してそういうことではありません。このことも私たちの将来不安を象徴しています。

社会保障制度を巡って、大きな流れは給付の抑制と自己負担の増であり、とりわけ医療の2割化は絶対反対です。

そして、安倍首相になって森友、加計、桜を見る会、二人の大臣が辞任、IRを巡って汚職事件が摘発されています。さらに国会の中でも野党に対する質問を真面目に答えていません。

憲法改正についても強行姿勢を崩していません。今、国民が求めているのは憲法改正ではないこと、社会保障の充実であり、政治に対する信頼を取り戻すことが求められています。

私たちは連合本部とも連携しながら政治の流れを変えていくことが大事だと思っています。

野党が大きくまとまって、安倍政権に対峙して国民の合意の政治に戻していくということが大事であり国民生活第一の政治を望みます。

日本退職者連合が行動する退職者連合としてさらに大きく前進していくことを誓いあってあいさつにします。